

FORMIC... 三菱電機... 米企業へ出資... 1000億円の投資... 自動化の推進... 労働力不足の課題... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

米ロボットSierを子会社化... ダイナシステム提案力強化... 2026年米国内売上高100億円の目標... 自動化の推進... 労働力不足の課題... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

デンマークAMRメーカー株式取得... 物流業務効率化を強化... 安全な自動化されたロボット... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

azbil あすみる、アズビル。オートメーションで未来を描く アズビル株式会社

三菱電機... 米企業へ出資... 1000億円の投資... 自動化の推進... 労働力不足の課題... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

米ロボットSierを子会社化... ダイナシステム提案力強化... 2026年米国内売上高100億円の目標... 自動化の推進... 労働力不足の課題... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

デンマークAMRメーカー株式取得... 物流業務効率化を強化... 安全な自動化されたロボット... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

今年もライトハウスに日本の姿なし... 日本の製造業ここにありを示してビジネスにつなげろ... 世界経済フォーラム... 2024年のライトハウス... 製造業の革新... 労働力不足の課題... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

製造業の革新の指針となる先進的な工場「ライトハウス」

今回認定された世界のライトハウス... 4IR ライトハウス... E2E ライトハウス... 持続可能性 ライトハウス... 表には各国の工場名と所在地が記載されている。

世界経済フォーラム... 24年は22工場選出... 世界で172工場に拡大... 製造業の革新... 労働力不足の課題... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

見直し、30以上のデジタル... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

Electronics Solutions Company KANADEN 株式会社 カナデン... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

今年もライトハウスに日本の姿なし... 日本の製造業ここにありを示してビジネスにつなげろ... 世界経済フォーラム... 2024年のライトハウス... 製造業の革新... 労働力不足の課題... 生産性の向上... 競争力の強化... 持続可能な成長... 社会貢献の実現... 未来の産業革命... 世界のリーダーになる... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る... 世界をリードする... 日本企業は世界をリードする... 技術革新を続ける... 人材育成を重視する... 環境に優しい生産... 社会と共生する... 未来を共に創る...

Power Reliability 安心24ソリューション DC電源安定供給! PHOENIX CONTACT... SPD 電力計測... スイッチング電源... UPS... 電子式サーキットブレーカ... DINレール用電源エントリーモデル ESSENTIAL2 Powerをクイントマンが4コマ漫画で紹介!



見込顧客の創出
BtoB企業専門のマーケティング支援
株式会社メイテンス

Electronics Solutions Company
KANADEN
株式会社カナデン

生産設備の予知保全をIoTで効率化
https://lp.sukkha.net/
info@sukkha.net
SUKKHA

この技術が、世界を変える。
この技術で、未来を変える。
change the world. for the future.
HOKUYO
https://www.hokuyo-aut.co.jp/

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■オムロン、セキュリティ脆弱性のCVE採番機関に認定

オムロンは、セキュリティの脆弱性に関する国際的な取り組みであるCVEプログラムにおいて、脆弱性識別子(CVE ID)を自社で採番できるCVE採番機関(CNA)として認定された。

今回のCNA認定によって、グループの製品・サービスに影響を与える脆弱性に対して、これまで外部に依頼していたCVE ID採番を自社で行い、より速やかにその情報公開ができるようになる。

■日東工業、カプセルトイの専用サーバーラックのミニチュアセットを監修

日東工業とエビーコミュニケーションズは、カプセルトイ「手のひらネットワーク機器」について、サーバーラックのミニチュア「日東工業サーバーラックFSシリーズ」を監修した。

国内データセンターでサーバーラックの導入実績を多数持つ日東工業が監修したサーバーラックのミニチュアは、本物さながらの精巧な作りとなっており、ドアと側板の取り外しが可能。冷却ファン、ケーブルホルダー、ケーブルパネル、電源タップ、棚板、ブラックパネルといった付属のオプションパーツも取り付けることができる。

■IMV、QPS研究所への水冷式大型振動試験機「Kシリーズ」導入事例を公開

IMVは、QPS研究所への水冷式大型振動試験機「Kシリーズ」導入事例を公開した。

QPS研究所は世界トップレベルの高精細小型レーザー衛星「QPS-SAR」の開発・製造・運用を行う宇宙開発企業。受託試験場はスケジュール調整が必要かつ、モノや人が移動する時間もかかるため、自社に装置があればいつでも試験ができ、期間短縮につながることを理由に採用に至った。

■サトー、コラム公開「ラベルプリンターは工場・製造現場に必須！導入時のポイントとは」

サトーは、お役立ちコラム「ラベルプリンターは工場・製造現場に必須！導入時のポイントとは」を公開した。

未来のためにも、インターネットの
METZ CONNECT
We realize ideas
Rinsconnect 株式会社リンスコネク

工場をはじめとする製造現場では、原材料や商品の在庫管理、資産管理、作業工程管理などのさまざまな管理が必要となり、作業品質の担保や確認にかかる時間を短縮する方法として、バーコード・2次元コードなどの印字をしたラベルやICチ

ップにIDの書き込みをしたRFIDタグ・ラベルの活用がある。

コラムでは、ラベルを発行するために重要な「ラベルプリンター」を工場(製造現場)に導入するときのポイントや、サトーの製造現場向けラベルプリンターを紹介している。

■カワダロボティクス、「キッティング作業の自動化ロボットシステム」をThinkerと共同開発

カワダロボティクス、「キッティング作業の自動化を可能とするロボットシステム」のプロトタイプをThinkerと共同開発した。

キッティング(kitting)とは、製造現場では「特定のプロダクトの組み立てに必要な部品や材料などをそろえて準備する作業」を意味し、これまでロボットによるキッティングの自動化が検討されてきたが、異なる種類の部品を柔軟に扱うことができるロボットハンドがなく、それに対応しようとするシステムが大型化してしまうことが、実現の大きなハードルとなっていた。

それに対して今回の共同開発では、「NEXTAGE」を近接覚センサの力で多種の部品にも柔軟に対応できるThinkerのロボットハンド「Think Hand F」と組み合わせることで、より、従来のキッティング自動化の課題解決を図る。

■住友重機械工業、SCREEN SPE社の子会社の半導体製造装置メーカーの仏LASSE社を買収

住友重機械工業は、SCREENセミコンダクターソリューションズ(SCREEN SPE社)の半導体製造装置事業を営むフランス子会社Laser Systems & Solutions of Europe SASU(LASSE社)の株式を100%取得する。SCREEN SPE社からの株式譲渡は2024年11月の予定。

LASSE社は半導体製造装置事業会社SCREEN SPE社の100%子会社で、レーザアニール装置の開発・製造・販売をし、グローバルに顧客とのネットワークがある。独自のレーザ発振器技術を保有し、半導体製造プロセスでのレーザアニール技術を公的研究機関と共同研究開発も進めている。

■NSK、工作機械主軸用軸受の解析ツール「MT-Click!Speedy」を開発

NSK(日本精工)は、工作機械主軸用軸受の解析ツール「MT-Click!Speedy」を開発した。

同ツールを使うことによって、工作機械の主軸に多く使用されるアンギュラ玉軸受と円筒ころ軸受について、ユーザー自身が同社のノウハウに基づいた解析を簡単・スピーディーに実施できるようになり、軸受選定の時間を大幅に短縮できるようになる。

■ジェイテクト、ノーコードでAIを活用できるプラットフォームを内製

ジェイテクトは、検査工程などにおいてプログラミング不要で容易に使用できるノーコードAI活用プ

ットフォームを内製した。生産現場でのAI導入にかかる障壁をなくし、デジタルモノづくりを加速する。

ステアリング、駆動製品、軸受など多岐にわたる生産工場を持つ同社のモノづくり課題を解決するソリューションとして開発し、AI・ソフトウェア人材と生産技術部門が連携し、アジャイル開発により創出したAI活用プラットフォームで、学習モデル構築などAI活用に関する各サービスをノーコードで使用でき、「マイクロサービスアーキテクチャ」によりサービスを自由に組み込みできるようになっている。

■TDK、PiezoStator超音波アクチュエータの製品ポータルを公開

TDK、PiezoStator超音波アクチュエータの製品ポータルを公開した。

PiezoStator超音波アクチュエータはコイルも磁石も使わない積層圧電体の力で動かすモータの構成部品。スライダや回転体と組み合わせることで直動運動や回転運動を軽量・低背・静音で実現でき、センサとの併用で高精度の位置決めが可能となる。ラック&ピニオンの機構を必要としない動作原理で作用させるため従来の「モータ」ではスペースや重量の制約により搭載が難しかった小型のメカ、また磁界を嫌う環境での用途で真価を発揮する。

移転・オープン

■ニデック、滋賀県栗東市に工作機械の総合展示場「テクニカルセンター」を設立

ニデックグループは、滋賀県栗東市のニデックマシンツールの敷地内に、工作機械の総合展示場として「テクニカルセンター」を建設する。2025年11月に竣工予定。

「総合工作機械メーカーのニデック」として、旋盤、マシニングセンタ、歯車工作機械、レーザ加工機などグループの主要な工作機械を展示するほか、旋削・切削・研削加工・金属積層造形など当社が誇るさまざまな技術・ノウハウをベースとした、最適な加工ソリューションの提案も行う。

■正興電機製作所、北九州市にひびきの研究開発センターを建設

正興電機製作所は、福岡県北九州市の北九州学術研究都市(ひびきの)に、産学官連携による最先端の製品および技術開発を推進する研究開発拠点「ひびきの研究開発センター(仮称)」を建設する。完成は2026年4月の予定。

■FUJII、中国東莞事務所を移転しショールームを拡充

FUJIIは、グループ会社のFUJII MACHINE CHINA CO.,LTDの中国華南地区の基幹拠点である東莞事務

所を移転し、併設ショールームを拡充した。

新設したショールームでは、最新機種「NXTR」を用いた最先端の生産フロア自動化システムを展示し、実際にデモンストレーションが可能。人手不足や人件費の上昇を背景に需要が年々拡大している手挿入部品の基板組み付け工程を自動化する装置も導入している。

イベントセミナー

■HMS、11月6日と12月4日にWEBセミナー「Ewonを使ってリモートアクセス」

HMSインダストリアルネットワークは、11月6日と12月4日にEwon製品のWEBセミナー「Ewonを使ってリモートアクセス」を開催する。

11月6日は「Talk2m proでスマート運用」とし、簡単かつ安全に機械に接続し、遠隔監視やデータ収集ができ、産業用リモート接続を実現するクラウドサービス「Talk2m」をテーマに実施する。Talk2mの無料プランと有料プランの違いや各プランの選び方などを解説。

12月4日は「Ewon製品を使いこなす」とし、産業用リモートアクセスについて紹介する。

■コンテック、11月1日ウェビナー「使い慣れたRaspberry Piを産業PLCで活用する方法とは」

コンテックは、11月1日にウェビナー「使い慣れたRaspberry Piを産業PLCで活用する方法とは」CODESYS搭載のラズパイベースの産業向けオールインワンPLCで、柔軟性とコスト削減を実現する～」を開催する。リクエストが多かったことから、9月に行ったものの再放送(録画配信)を実施する。

セミナーでは、同社が提供する「CODESYS搭載Raspberry Piオールインワンコントローラ」を用いて、柔軟かつ低コストで工場の自動化を実現する方法を、具体的な事例を交えて詳しく解説。スマートファクトリーやスマートシティの実現に向けて、Raspberry Piを産業用途でも活用したい方、既存のPLCの拡張性や柔軟性に課題を感じている方、低コストで生産ラインやシステムの自動化を検討している方に特におすすめとなっている。

■MECHATROLINK協会、11月12日に東京で「MECHATROLINK-4開発者セミナー」開催

MECHATROLINK協会は、11月12日に東京・安川電機東京支社で、MECHATROLINK-4対応製品に関する「MECHATROLINK-4開発者セミナー」を開催する。

セミナーでは、MECHATROLINK-4通信の詳細および対応製品開発について紹介し、受託開発パートナーによる製品・サービスに関するプレゼンテーション、デモ機での技術紹介も行う。



WEBセミナー

Ewon産業用リモート接続ソリューションで
機械を遠隔地から安全にサポート。

- 11月6日(水) 16:00-16:45
「Talk2m proでスマート運用」
- ・Talk2mの無料プランと有料プランの違いを知りたい方
- ・Talk2mのプランの選び方を知りたい方
- ・アカウントの運用方法を知りたい方



- 12月4日(水) 16:00-16:45
「Ewon製品を使いこなす」
- ・パソコン以外の端末からも使いたい方
- ・Cosy+の上位機種Flexyについて知りたい方
- ・メール発報システムを検討している方



JIMTOF 2024 主要FA企業 出展紹介

11月5日～10日 東京ビッグサイト

■シーメンス (ブースE5008)

Siemens Xcelerator ソフトとハードの両方でDXを支援

シーメンスは、「Siemens Xcelerator」のコンセプトでソフトウェアとハードウェアの両方でDXを支えるソリューションを展示する。

ハードウェア・ソリューションは、シーメンスのCNCであるSINUMERIKとロボットを接続したコンセプト機を展示する。通常の工作機械同様のコードでロボット加工を実現するソリューションとなっている。さらに、最新のCNCコントローラーSINUMERIK ONEとショップフロアのDXをサポートするMCenterを日本で初公開する。

ソフトウェア・ソリューションは、統合エンジニアリングツールのNXを中心に、CAD/CAE/CAM/CMM領域を12月にリリース予定の最新バージョンと併せて展示。また、近年ユーザー数が拡大傾向にある流体解析のSTA-CCM+、アディティブ・マニファクチャリング・ソリューションも紹介する。

■シナノケンシ (ブースE7045)

製造現場の「自動化」と「省人化」を実現するASPINAロボティクス製品

シナノケンシは、製造現場の「自動化」と「省人化」を実現するASPINAロボティクス製品を提案する。

製造現場向け自動搬送ロボット「AspinaAMR」に



協働ロボット向け「ASPINA電動ロボットハンド」を搭載した、自走ロボットアーム(モバイルマニピュレータ)型AMRのデモンストレーションを行い、製造現場での具体的な使用イメージを展示を行う。ロボットアームとハンドが「手」、AMRが「脚」の役割を担い、搬送物の受け取り、移動しながら作業、搬送先での受け渡しまでを自律的に行うことができる。

■たけびし (ブースE7053)

OPC UA情報モデルを活用したデータ連携の実現方法を提案

たけびしは商社でありながら、国際標準の通信規格「OPC UA」対応のオリジナル商品を開発・販売し、生産現場のマルチベンダー化をリードしてきたベンダー。ブースでは「OPC UA情報モデル」を活用して、ベンダー独自の通信仕様とデータ構造を吸収し、データ連携をスムーズかつセキュアに実現する方法を提案する。

主力製品の産業用通信ソフトウェア「デバイスエクスプローラOPCサーバー」は、400シリーズ/100ベンダー以上の制御機器にアクセス可能なOPCサーバーソフトウェア。「OPC UA」は機器ごとに業界共通の「情報モデル」を取り決めてデータを交換しやすいようになり、相互運用性や拡張性の高さから、普及が進んでいる。

■THK (ブースW2017)

最先端の自動化～あらゆる動きを技術とサービスでサポート～

THKは、「最先端の自動化～あらゆる動きを技術とサービスでサポート～」をブーステーマに、工作機械の高性能化を実現する要素部品をはじめ、調達・設計・組立工程の負荷軽減とコンパクト化・高精度化を両立するモジュール製品、製造現場の自動化を促進するロボット関連製品、生産プロセスの総合効率化を最大化するIoTサービス「OMNIedge」を展示する。

高加速減速対応・低慣動ミニチュアLMガイドや超低

ウェービングLMガイド、工作機械用超重荷重LMガイド「NR-X/NRS-X形」超ロングブロックタイプをはじめ、日本ロボット学会第29回実用化技術賞のフレキシブル次世代搬送ロボット「SIGNAS-BM」、自由自在な搬送で変種変量に対応する「次世代リニア搬送デモ機」、OEE(設備総合効率)最大化プラットフォーム「OMNIedge」など。



■日東工器 (ブースW4069)

迅速流体継手(カブラ)、省力化機械工具、電動ねじ締めドライバなど

日東工器は、一回の操作で複数配管を同時に接続する複数配管型迅速流体継手「マルチカブラ」をはじめ、回転する2色の羽根で冷却水の



流れを目視確認でき、射出成形品の品質の安定を低コストで実現する「フローモニター」、各種産業機器への組み込み用として最適な真空ポンプ、切削液回収作業の省人化・省力化が可能な切削液回収装置、ロボットに確実に固定可能な自動機対応エアツールシリーズ、強力バッテリーとブラシレスモータを搭載したコードレスタイプの手持ち工具、外部起動が可能な電動ドライバシリーズ、電気を使わずに静かにゆっくり閉まるスライディングクローザなどを展示する。

■日東工業 (ブースE7151)

WEBを使って手軽にキャビネットをカスタマイズ

日東工業は、「スマートオーダーキャビネット」と「CABIoT」を提案する。

スマートオーダーキャビネットは、Webでの入力でキャビネットのカスタマイズが手軽に実現できるサービス。寸法指定、キャビネット穴加工、色変更、扉組替、基板組替・加工、側面組替・加工、背面組替、下面組替などカスタマイズでき



き、パリエーションは1000万種超をそろえている。設計から見積もりまでWEBシステムで簡単、時短ができ、注文から4～7日で出荷に対応している。

また「CABIoT」はあらゆる盤・キャビネット・施設などの熱環境を遠隔監視し、予知保全や環境改善につなげるIoTサービス。

■日本精工 (ブースW2026)

「MORE THAN PRECISION」 あたらしい動きが、次の世界をつくりだす。

日本精工(NSK)は、「『MORE THAN PRECISION』 あたらしい動きが、次の世界をつくりだす。」をコンセプトに、同社が追い求め続けている「モノづくり」と、地球環境への貢献の両輪で、さまざまな製品・サービスを展示する。

工作機械主軸用精密単列円筒ころ軸受「ロボストライド(ROBUSTRIDE)」をはじめ、工作機械向け低フリクションボールねじ「MT-Frix」、設備診断エキスパートが支援する状態監視ソリューション等を紹

介する。

■ハーティング

(ブースE7069)

工作機械の接続を効率化、省スペース化する製品群

ハーティングは、工作機械の接続を効率化、省スペース化する製品群を紹介する。

ブースでは、同社が業界標準を確立した防塵防水モジュラー式角型コネクタの新製品、1ペア線のみを使用した新イーサネット伝送技術のシングルペアイーサネット用コネクタ、新規規格小型イーサネットインターフェース、丸型コネクタ、堅牢かつ多彩な機能を備えたイーサネットスイッチなど各種接続製品を提案する。

また、設備の故障兆候検知や機械の制御などにラズベリーパイをベースにした低コストで手軽に導入可能なエッジ・コンピュータ、産業用ラズパイのデモ・展示も行う。



■ハイウィン (ブースW2051)

「Eco Solutions for Green」で持続可能なものづくりを支援

ハイウィンは、「Eco Solutions for Green」をグループのESGテーマとして掲げ、持続可能なものづくりを支援する環境に配慮する製品群を「工作機械ソリューション」と「周辺機器トータルソリューション」の2つの軸に分けて展示する。

工作機械ソリューションでは、高速ロータリーテーブルや放電加工機向け水中用DDロータリーテーブル、予知保全に貢献するi4.0シリーズとHIWINロータリーテーブル採用の工作機械などを提案するほか、日本初出展のトルクモーターロータリーテーブル「RAB630」は最高回転数1000min-1、5軸同期加工を可能にする高速型で、航空宇宙部品や医療、EV等の産業における需要急増に応える、高い加工効率と精度を実現。特にフライス加工や複合旋盤の進化に貢献する。

■ハイデンハイ (ブースE7123)

環境に配慮した生産プロセス(Green Manufacturing)を実現する各種ソリューション

ハイデンハイは、クーラントや結露などの内部汚染に対して飛躍的な耐性を兼ね備え、エアバーレスでの稼働が可能な新型アブソリュートリニアエンコーダ「LC 6」シリーズとアブソリュート角度エンコーダ「RNC 1」シリーズを搭載した最新の光学式走査原理「True Image Technology」を提案する。

その他、ワイヤレス通信式高精度タッチプローブ「TS 460」、ツールプリセット・顕微鏡・外観検査装置の3つの機能を一体化し、工具の摩耗や折損を迅速かつ確実に検出するビジョンシステム「VT 122」、加工エリアに常置可能で、レーザーシステムと比べて各工具交換を最大6秒短縮するインダクティブ式工具折損検出器TD 110も出展する。

■パトライト (ブースAM103)

ワイヤレス・データ通信システム「AirGRID WD」シリーズ

パトライトは、ワイヤレス・データ通信システム「AirGRID WD」シリーズを提案する。同システムは、信号灯をインターフェースにして無

線で設備稼働情報を取得可能。装置の年式やメーカー、機種に関係なく「楽楽」導入でき、導入工事による設備や生産への影響も少なく「安心」。無線システムなので増設やレイアウト変更も「楽楽」にでき、スタートアップキットで「楽楽」とスモールスタートができる。

■丸紅エレネクト (ブースW3111)

海外のユニークなコネクタ、スイッチ、産業用部品を紹介

丸紅エレネクトは、海外のユニークなコネクタ、スイッチ、産業用部品を輸入販売している専門商社。

ブースでは、プレスマシンやパンチングマシンなどの危険な装置で 사용되는両手操作ユニットのスイッチの静電容量式化ができる静電容量式両手スイッチとタッチセンサを提案する。繰り返される押しボタンの押下作業のタッチ化により押さずに触れるだけでスイッチのON/OFFができるIEC安全規格認証品を紹介。静電容量式タッチセンサ付きの産業用ディスプレイや様々なご要求に対応可能なスリップリング、コネクタも展示する。



■三菱電機 (ブースS2002)

Automating the World 絶えまない進化を、あなたのものづくりへ。

三菱電機は、「Automating the World 絶えまない進化を、あなたのものづくりへ。」をコンセプトに、前回2022年からの進化・成果について、CNCや放電加工機、3Dプリンタ、DXなど様々なニーズに対応できる製品・ソリューションを提案する。

ワークショップでは、「NC加工AI診断ツールNC MachiningAID～三菱電機CNCが目指す完全自動化ライン～」で加工IoTデータの収集・診断で品質不良の防止と加工最適化によるコスト削減を紹介。「ワイヤ・レーザ金属3DプリンタAZ600～製造現場での実用化に向けた取り組み～」として、DED方式を採用した金属3Dプリンタについて、ニアネットシェイプ工法、異種金属造形、金型補修、溶接代替など最新事例を紹介する。

■リンスコネク (ブースE2009)

Windowsベースで制御する位置決め回転テーブルと金属性LANコネクタケーブル

リンスコネクは、NKワークスとのコラボレーションでユニークな製品群を紹介する。pL LEHMANNの測定機能回転テーブルは、Windowsベースで制御する精密位置決め回転テーブル。DLLによる制御で、面倒なGコードは不要、Windowsベースのソフトウェアで制御でき、I/Oへの接続も不要。複数の回転軸もWindowsアプリケーションで制御できるようになる。

METZ CONNECTのLANコネクタケーブルRJ45は耐ノイズ性を考慮した特殊設計のRJ45金属性組み立て式コネクタで、階層構造の配線にNEXTの影響を低減し、基板内蔵でノイズカットを実現している。



25
VX25. SYSTEM PERFECTION.

- 設計から製造まで -
制御盤製造のデータ連携と実装



■体験コーナーあり!
一貫したデジタルワークフローによる電線加工や配線組み付け

■NEW! 先行展示
エンクロージャー VX25
ボード型バスバー RiLine X

JIMTOF 2024
リタール
東2ホール E2033



詳細はこちら

JIMTOF 2024 主要FA企業 出展紹介

11月5日~10日 東京ビッグサイト

■ifm efector (ブースE7058) センサデータ活用でDX

ifm efectorは、「センサデータ活用でDX」をテーマに、「クーラント装置におけるIO-Linkセンサの革新的な活用」として複数のプロセス値をデジタル信号で正確に伝送し、設備の状態監視とメンテナンスを効率化するIO-Linkセンサ、「ツールチェンジャの正確性」としてRFIDによるツールの迅速な識別と追跡、「クランプ品質管理の効率化」としてギャップセンサの活用などを例に、工作機械の見える化と生産性の向上を提案する。



■IDEC (ブースW4008)

製造工程間における、人と機械が安心して協働できる労働環境を簡単に実現

IDECは、「製造工程間における、人と機械が安心して協働できる労働環境を簡単に実現」をコンセプトに出展する。

工程間搬送における部品供給の遅延を削減(自動化)、身体的負荷の低減として、セーフティ・ホイール・ドライブによるISO3691-4に適合した人と協働可能な安全なAMR/AGVの簡単な構築、PLCを使用したAMRの制御を容易にするAMR向けのソフトウェアパッケージのほか、電動アシストホイールを用いた重量物搬送の負荷軽減、工作機械のメンテナンス時の安全対策、SNAP-IN式端子台による配線工数削減などを提案する。

■アズビル

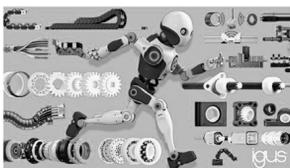
(ブースW4078)
NC旋盤の刃具破損を検出して製造ロスを大幅削減! 予兆検知ユニット
アズビルは、NC旋盤のチップングを検出して製造ロスを大幅削減できる予兆検知ユニット「U4D」を出展する。
加工時に発生するチップングによる刃具の破損は、加工品の廃棄や製造の無駄な時間など、多くの金属加工業者にとって製造ロスの原因となっている。
それに対しU4Dは、独自のチップング検知アルゴリズムでリアルタイムでチップングを検知可能。既存のNC旋盤のメーカーを問わずに後付けし、簡単な設定と学習開始ボタンを押すだけで運用開始できる。ユーザーによる試行錯誤やデータ解析作業がいらす、加工プログラムの追加変更等も一切不要で、迅速に予兆検知が始められる。



■イグス (ブースE3005)

エンジニアリングプラスチック技術を活かした motion plastics company

イグスは、自動化への希求が高まる工作機械業界に向けて motion plastics companyとして、エンジニアリングプラスチック技術を生かした直動だけでなく旋回用途にも対応できるケーブル保護管のエナジーチェーン、可動ケー

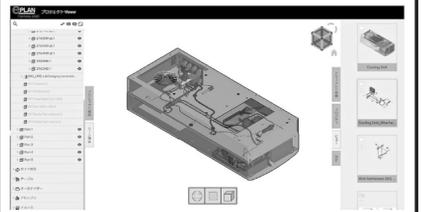


ブルのチェーンフレックス、無潤滑リニアガイドのドライリンなど、メンテナンスフリーで長寿命化が実現可能な樹脂製品を紹介する。

また製造現場の自動化に貢献するロボットの3D動作ケーブル保護管トライフレックスRや、ローコストオートメーションとして協働型ロボットReBeL、ロボット搬送7th axis、走行軸など自動化ソリューションも展示する。

■EPLAN

(ブースE2033)
電気設計から製造までデータがつながる 3D電気CAD



EPLANは、どうやって電気設計の効率化と自動化ができるのか、制御盤のデジタルツインを活用すると製造工程でどんなことができるのかなどを紹介する。

EPLANには、電気設計CAD「EPLAN Electric P8」、制御盤内3Dレイアウト設計「EPLAN Pro Panel」、電気設計と機械設計の連携ができるハーネス設計ソリューション「EPLAN Harness proD」など、電気設計、制御盤の設計に特化したソリューションが数多くある。回路図をもっと効率にかきたい、部品表を自動で作成できたらうれしい、電気設計と機械設計が連携できたらいいなと考えている、製造連携を考えているなど、電気設計に関する課題や悩みに対して解決策を提案する。

■SMC (ブースW4057)

工作機械業界を支援する SMC Solution

SMCは、「工作機械業界を支援する SMC Solution」をキャッチコピーとして、新製品を含めたエアマネジメントシステム、増圧弁/排気エア再利用タイプ、温調機器、電動アクチュエータ、真空用機器、イオナイザ、無線システム、2/3ポートバルブ等を展示する。



■NTN (ブースW2052)

カーボンニュートラル実現、自動化・IoTによる生産性向上に向けた革新技術の提案

NTNは「カーボンニュートラル実現、自動化・IoTによる生産性向上に向けた革新技術の提案」をテーマに展示する。

工作機械関連商品ゾーンでは、工作機械主軸用グリース潤滑軸受向け樹脂保持器などグリース潤滑軸受の高速回転対応を実現する新商品や新技術などを展示。

ソリューション商品ゾーンでは、工作機械主軸用「センサー内蔵軸受ユニット」やセンサ内蔵転がり軸受「しゃべる軸受」など軸受の異常検知に役立つ製品群、自動・搬送機器商品ゾーンでは、外観検査を高速に自動化する手首関節モジュール「i-WRIST」や、

リタール

(ブースE2033)

制御盤製造のデータ連携と実装 効率的な製造プロセス・実装のポイント紹介

リタールは「制御盤製造のデータ連携と実装」をテーマに、効率的な制御盤の製造プロセスや実装のポイントを紹介する。

ブースは「Engineering (設計)」「Panel building (制御盤製造)」「The system」の3つのエリアで構成し、一貫したデータによる設計から製造までのデジタルワークフローを体験できる。

はじめにEngineeringで、Eplanのソフトウェアソリューションで設計・製造連携の土台となるデータ作成を体験し、次のPanel Buildingで、そのデータで製作されたサンプル盤を使って「Eplan Smart Mounting」と「Eplan Smart Wiring」で効率的な部品組付け、配線作業を体験できる。9月に神奈川県小田原に開設した「リタールアプリケーション

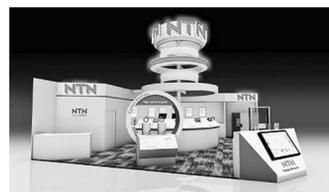


センター」では、全自動電線加工機「WT C ワイヤターミナル」や穴あけ板金加工機「PerforeX MT」なども設置し、より高度な設計・製造連携と自動化を体験できる。
The Systemでは、新型エンク

ロージャー「VX25」先行展示のほか、来春販売のボード型バスバー「RiLine X」、コンパクトボックスや新型「Blue e+フィルターファンユニット」「Blue e+フィルタールーバー」等も展示する。

https://blog.rittal.jp/exhibition_jimtof2024

カメラやピッキングロボットとの連携により多様なワークに対応するピッキングロボット用フィーダ「TRINITTE (トリニッテ)」などを展示する。



■キーエンス (ブースE7059)

今まで世の中になかった「世界初・業界初」の商品を創造し、あらゆるものづくりに貢献

キーエンスは、顕微鏡・測定機など、お客様の製造・品質・研究開発に貢献する商品を取り扱い、今まで世の中になかった「世界初・業界初」の商品を創造し、あらゆるものづくりに貢献している。

ブースでは、3Dスキャナ型三次元測定機や画像寸法測定器、三次元測定機など最新の測定機・顕微鏡などを展示。あらゆる立体形状を高精度に3D測定「3Dスキャナ型三次元測定機」と、置いて押すだけ「画像寸法測定器」などを提案する。

■ケーメックス・オートメーション (ブースE7063)

ゼロキャビネットコンセプトを実現する新製品

ケーメックス・オートメーションは、ヨーロッパ製の様々な国際規格をとりそろえたケーブルやグラウンド、丸型/角型コネクタ等の電子部材、IIoT・IO-Link関連製品、センサ、ケーブルドラッグチェーン(ケーブル保護)やラベル、産業・協働ロボット用のアクセサリまで幅広い製品を豊富に取り扱っている。

ブースでは、次世代の「ゼロキャビネットコンセプト」を実現するMurrelektronik社の新製品「Vario-X」をはじめ、「省工数」「予知保全」をコンセプトにIIoT対応の省配線システムや安全信号用IOユニットの省配線システムを中心とした実機パネル展示も実施。ファナック協働ロボットとケーブル保護システム「Robotic-Kit」の実機展示も行う。

■CKD (ブースW4052)

未来へつなぐソリューションを提案

CKDは、「未来へつなぐソリューション」をテーマに、「生産性の向上」「労働環境の改善」「カーボンニュートラルへの貢献」を実現する製品群を紹介する。



生産性の向上では、エネルギー生産性の向上につながるものとして、電動アクチュエータスライダタイプEJSG、リモートI/O RTシリーズのほか、無線化の実現で省配線・メンテ工数削減につながるものとして、パイロット式3.5ポート弁プラグインブロックマニホールドTVG、IO-Link Wireless入力ユニットWDを提案。

労働環境の改善では、フレックスアームFAW、コンパクトアームCAW、Ai技術で生産設備に導入した画像検査の事例などを紹介。カーボンニュートラルへの貢献では、パルスブローでエア消費量を削減するパルスエアブローバルブの各種製品を展示する。

工場をいろんな無線でつなぎます

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

WISE-4610 (LoRaWAN)
WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

ECU-1051 (LTE/Wi-Fi)
ECU-150 (LTE/Wi-Fi)
ECU-1252 (LTE/Wi-Fi/CAN)
エッジゲートウェイ



ARM A8 ARM A53x4 ARM A8

WISE-4220 (Wi-Fi 2.4G)
WISE-4210 (SUB-G)
WISE-4471 (NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX (Wi-Fi 2.4G)

WISE-S100
タワーライトセンサ後付け

WISE-2410 (LoRaWAN)
WISE-2410X (LoRaWAN)
振動センサ電池駆動型

WISE-2210 (SUB-G)
WISE-2211 (SUB-G)
WISE-2200-M (LoRaWAN)
CT給電対応/アナログ入力

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社
<https://www.advantech.com/ja-jp/>



[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草6-16-3

TEL: 03-6802-1021 FAX: 03-6802-1022

[大阪支店] TEL: 06-6267-1887 FAX: 06-6267-1886

[名古屋支店] TEL: 052-291-4860 FAX: 052-291-4861

制御盤の未来と**制御盤DX** —設計・製造改革の進め方—

Festo×Eplan Data Portal活用法

充実のエンジニアリングツールで設備設計をサポート メカと電気、IT、AIの技術領域に対して先進的な技術を提供

ドイツのFesto（フェスト）といえば、世界有数の空気圧機器メーカーのイメージが強いが、実際はモータなど電動機器やネットワーク、クラウドなど、メカとエレ、空圧と電動、さらにはデジタル環境にいたるまで、装置を構成する主要なコンポーネントとデジタルサービスを一通りそろえる世界でも稀有な総合電機・機械部品メーカー。インダストリー4.0を牽引するグローバル企業の一つだ。

コンポーネントは多岐にわたり、自社製品同士を組み合わせる機能ユニットやモジュールとして使われることも多く、各種エンジニアリングツールを充実させて設計者の支援を行っている。さらに、そこで選定した製品をそのままWEBで購入できる道まで用意し、データ活用・デジタル時代を先取りした仕組みを展開している。

空圧・電動機器の世界トップメーカー

同社は、1925年にドイツ・シュツットガルト近郊のエスリンゲン/ベルクハイムで創業。来年創業100年を迎える。空気圧機器の分野では世界のトップ企業の一つとしてよく知られている。グローバル売上高は約6500億円、従業員数は2万人を超え、世界176カ国で事業を展開。日本法人は1977年に設立し、横浜市都筑区に拠点を構えている。

空気圧機器と電動機器、教育事業の3つの柱があり、売り上げ構成では空気圧機器が7割を占め、電動機器のうちFA・オートメーション関連が2割、残り1割がプロセスオートメーション、ライフ・ラボ関連、教育関連となっている。

事業の中心となっている空気圧機器は、空気圧シリンダをはじめ、スライドテーブルなど空気圧駆動機器、電磁弁など空気圧制御機器、空気圧調質機器、センサ、真空機器まで、空気圧機器全般を取りそろえている。

2018年からは電動機器事業を強化し、サーボモータやステッピングモータ、コントローラ、ベルト・ボールねじアクチュエータ、リモートIO、制御モジュールなど、電気制御機器もラインアップ。アクチュエータやバルブなど空圧と電動の駆動機器を中心に、コントローラやI/O、ネットワーク、クラウドやAIまで、自社製品だけでほぼ一つの装置が出来上がるほどの製品群を扱っている。

幅広い技術領域と先進技術を使った ハイエンド領域に強み

同社の特徴として、汎用品よりもハイスペック品、市場規模は小さくても高性能を求める領域にターゲットを絞って営業を進め、製品もそれに応じた先進的なものの提案が主となっている。



例えば「Controlled Pneumatics（コントロールドニューマティクス）」は、デジタルによる精密な空気圧制御で、標準的な空気圧や電動ではできないと考えられていた高精度のアプリケーションにも対応した新技術。圧縮空気の消費量を低減し、カーボンニュートラルにも貢献する技術として注目を集めている。

また、空気圧の制御をメカ的ハードウェアで行うのではなく、アプリで制御して空気圧のデジタル化を可能にするモーションターミナル「VTEM」や、休憩時間やメンテナンスなどシステムが停止している際の圧縮空気の供給をコントロールし、空気とエネルギーの無駄遣いを減らすエナジーセービングモジュールなどのような技術の提案を強化している。

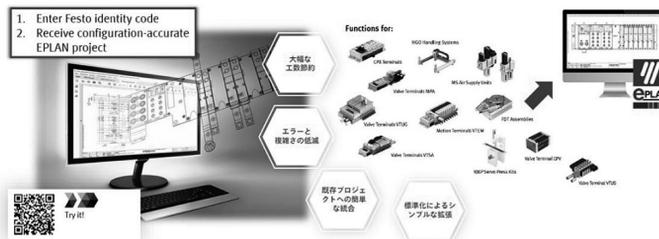
プロダクトマーケティングマネージャー電動オートメーション担当の河本栄之介氏は「メカと電気、IT、AIの技術領域に対して先進的な技術をそろえ、部品からクラウドサービスまで垂直統合で提案でき、製品の単品のもの売りからソリューションまでシームレスにつながる仕組みを一貫通貫で提供できるのが当社の強みです。労働人口が減る中で生産性を高めるためには、Ready to Installで提供することが重要となり、ソリューションとしての提供も強化しています」としている。

設計支援のためのエンジニアリングツールを 豊富に提供

空気圧機器と電動機器それぞれの専門メーカーはあるが、両方を手がけている企業は世界でもごく限られる。同社はそのうちの1社となるが、空気圧機器を使ったシステムは構成部品が多く、それに伴って製品

EPLAN Schematic Solution

貴重なエンジニアリング時間を節約: 数回クリックするだけで、正確な構成のEPLANマクロを使用できます!



数も膨大にのぼる。それに加えて電動機器もラインアップしていることから、設計者がアプリケーションや希望通りのシステムやユニットのために最適な製品を選定するのは難易度が高く、手間もかかる。さらに、流量計算等の専門的な技術計算も必要とされる。

そのため同社は、製品選定から技術計算、設計支援、シミュレーションなど、さまざまなエンジニアリングツールをWEBで提供し、最適なシステム・ユニット設計をサポートする仕組みを整えている。

製品選定から購入まで 一貫通貫で可能な「QuickSearchPlus」

「QuickSearchPlus」は、製品に関する必要な情報を全て効率的に入手できるツールで、製品の3Dデータはもちろん取扱説明書やメンテナンス情報まで入っている。空圧と電気、メカも電気も一つの仕組みの中で選定し、CADデータのダウンロードも可能となっている。

河本氏によると「QuickSearchPlus」は、電子カタログみたいなツールで、ホームページと同じレベルの情報がオンラインで入手できます」とし、ツール内でデータを取得し調べることができ、設計はもちろん、製造現場での1次対応や保守・メンテナンスなどの作業でも有効だという。

さらに、製品を検索して選定したらそのまま製品購入まで可能となっている。

「自社製品同士を組み合わせることで顧客の要望に応じてモジュールやユニットとして納品することも多く、製品データをもとにした各種エンジニアリングツールを充実させています。さらに、これらのツールで設計し、そこで選定したコンポーネントは、そのままWEBから購入できるようになっています。グローバルでは、すでに4分の1がWEBの直接取引になっていて、受発注の効率化が進んでいます」（河本氏）

Eplan連携、アプリ販売など取り組みを強化

Eplanとの連携も行っており、同社の製品はEplanが提供している製品データポータル「Eplan Data Portal」に掲載されている。

全てのFesto製品をEplanデータでも提供してほしいという多くのお客さまのリクエストがきっかけで、2011年より掲載を開始。欧州で高いマーケットシェアを獲得しているEplanで製品データを提供することで、お客さまのエンジニアリングにかかる労力を可能な限り削減したいという、同社の思いを反映している。掲載データを最新の状態にしておくメンテナンスコストは必要だが、お客さまからのフィードバックとEplanデータの需要を鑑みると、必要なコストだと考えている。

「QuickSearchPlus」ではEplanに登録済みの製品へ簡単にアクセスできるアドオンソフト「Eplan and QuickSearch」、自社製品で構成したユニットの回路図をEplan用に展開する「Eplan Schematic Solution」なども提供している。アプリにより、わずか数分でFesto製品の構成に応じた完全なEplanプロジェクトが作成される。エンジニアリングツールと電気CADを連携することで設計者の業務効率化をサポートしている。

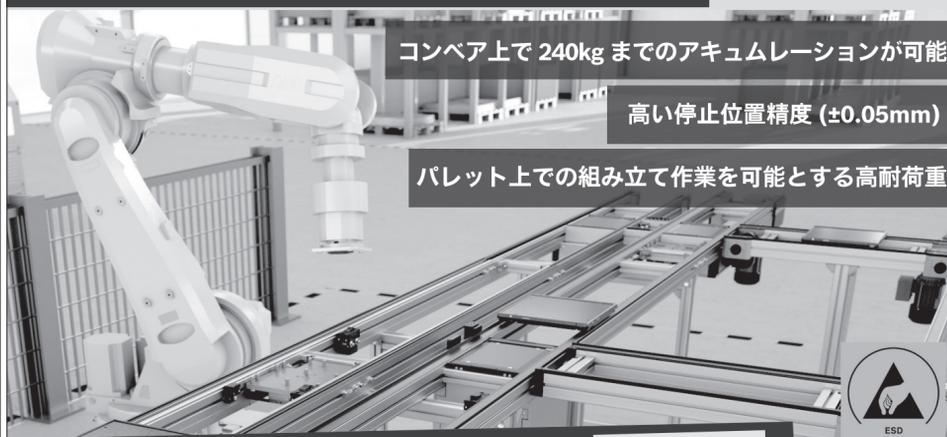
またアプリストア「APPworld」を整備し、モーションターミナル「VTEM」、小型ハンドリングシステム「YXMX」、サーボプレスキット「YJKP」、Festoコントローラといった最新機器について、システム構築や省エネ、保守管理などそれぞれの機器で便利に使えるソフトウェアをアプリとして販売している。これらのアプリを使うことでシステムの高性能化に加え、機能の設計やプログラム、設定・調整の手間が省け、装置立ち上げにかかる時間と手間を削減することができる。

システム連携やエンジニアリングツールについて、「Eplan Data Portalで製品登録していることで設計者が自然にそこから製品を選んで図面に加えてくれます。こうしたシステム連携をすれば双方で情報発信することになってWin-Winになります。一度デジタルで利便性を知ってしまうともう戻りません。試して便利と思ってもらえるような一歩目を支援することができれば、広がっていくと思います」と柴山考志氏（プロダクトマーケティングマネージャー空圧担当）は語っている。

<https://www.festo.com/de/de/app/>

ボッシュ レックスロスの標準コンベア

TS 2plus (パレット式コンベア)



コンベア上で 240kg までのアキュムレーションが可能

高い停止位置精度 (±0.05mm)

パレット上での組み立て作業を可能とする高耐荷重



カタログ品のラインナップは
こちらより→



製品に関するお問い合わせ先: 045-605-3028

VarioFlow plus (プラスチックチェーンコンベア)



自社製オリジナルコンベア

20年以上に渡る経験と実績

グローバルな供給網



ボッシュ・レックスロス株式会社

弊社はボッシュグループの産業機器テクノロジーを担っています。

rexroth

A Bosch Company

工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

国内

■デンソー、愛知県西尾市の善明製作所に
統合ECUの新工場を建設



次世代工場コンセプトのスマートファクトリー

デンソーは、愛知県西尾市にある善明製作所の敷地を拡張し、新たな工場を建設する。

SDVや電動化などの進展によってクルマの各機能を横断的に制御する大規模統合ECUが必要とされ、新工場では主に大規模統合ECUの生産を担う。

新工場は、デンソーの次世代工場のコンセプトを、工場の構想段階から織り込んだ初めての工場とし、デジタルインフラと自動化技術の導入により無人稼働の実現を目指す。

フレキシブル生産システムを採用し、製品を構成する部品やそれらの材料を標準化。設備組み換えが容易な生産ラインと組み合わせ、1つのラインで多品種の生産を実現し、製品の種類や量の変動にスピーディーかつ柔軟に対応。生産設備を構成する部品やユニットは標準化し、加工プログラムも標準化を進め、ソフトウェアの互

換性も高めることで、設備の新設や組み換えといった生産準備にかかる時間を大幅に短縮する。

工場内に設置したカメラやセンサーで設備やモノの流れを常時監視し、設備停止につながる予兆を検知した場合は、遠隔にて状況を判断し、設備の停止前に対応することで、生産ラインの24時間稼働を目指す。生産ラインだけでなく、材料や部品などの荷卸から工場内での搬送、材料の補給・投入、製品出荷のための梱包までを自動化することで無人化を進める。

また、デジタルを駆使した働き方へのシフトを進め、デジタルツイン技術で仮想空間に工場を再現し、設備製作前に設備の動作をシミュレーションすることで事前検証を行い、効率的で無駄のない生産システムを構築する。これまでのモノづくりを通じて蓄積してき



た現場のノウハウを形式知化し、誰もが使えるようにデータベースを整備。データベースを活用してより高いレベルの自動化を推進し、スピーディーに改善サイクルを回し、モノづくりの進化を促進する。

さらに、太陽光パネルによる自家発電や水素などを活用し、環境にやさしいカーボンニュートラルな工場づくりを進める。

敷地面積は約51万平方メートル。工場面積は約5万6000平方メートル。2025年度上期に着工し、2027年1月に竣工、2028年度上期から生産を開始する予定で、工場建屋の総投資額は約690億円を計画している。

■荏原製作所、千葉県富津市に水素インフラ関連機器の商用製品試験・開発センターを新設

荏原製作所は、水素インフラ関連機器の商用製品試験・開発センター「Ebara-Hydrogen Equipment Test and Development Center、E-HYETEC、イーハイテック」を千葉県の富津市内に新設する。

燃焼時にCO₂を排出しない水素は温暖化対策の切り札として期待されており、同社は水素を「つくる・はこぶ・つかう」の全ての分野で社会実装に向けて技術・事業の活用に取り組んでいる。同センターは、液体水素ポンプの社会実装を確実に遂行するための液体水素(実液)を用いた製品性能試験や要素技術開発を目的とする。液体水素向けポンプの実液を用いた実スケール商用製品試験設備としては世界初。

敷地面積は約1万8000平方メートル。建物面積は約2800平方メートル。投資額は約160億円。2024年1月着工。2026年6月竣工(予定)。2025年に一部試験設備の運用を開始する。

■アイカ工業、茨城県古河市の茨城工場内に高級人造石の新工場棟

アイカ工業株は、茨城工場内に新工場棟(第2工場)を建設し、高級人造石「フィオレストーン」の加工ラインを増設した。総投資額は約8.3億円で、生産能力は約1.5倍に向上する。10月より稼働予定。

世界的に良質な大理石が入手困難となる中、インテリア業界では、天然水晶に樹脂などを配合して成形した高級人造石の需要が拡大している。旺盛な高級マンション需要の継続、洗面などへの用途の拡大、インバウンド回復によるホテル需要の伸長によって高級人造石市場は成長を続けており、総額約8.3億円を投じて既存工場棟の隣に第2工場を建設した。

■東亜合成、愛知県名古屋市の名古屋工場でリチウムイオン電池用バインダー製造設備を増強

東亜合成は、電気自動車などに使用されるリチウムイオン電池用バインダーの製造設備を増強する。

負極用バインダーは、電池の膨張抑制による長寿命化と高イオン伝導率による低抵抗化に優位性があり、同社は製造条件の最適化や高効率化などの先進的な製造技術に基づいた設備を導入し需要の拡大に対応する。生産能力は蓄電池142GWh/年相当。

2025年12月完成し、2026年10月供給開始。投資額は約38億円。

■モロゾフ、兵庫県神戸市の西神第2工場の焼菓子製造設備を増強

モロゾフは、兵庫県神戸市の西神第2工場を改修し、新たな焼菓子製造設備の導入を行う。

同社は中期経営計画で開示していた設備投資計画の一部見直し、新船橋工場の建設と並行して西神第2工場の製造設備を強化し、当初計画にあった福岡工場の移転は延期する。

西神第2工場は鉄骨2階建て、延床面積は6611平方メートル。投資予定額は23億円。2025年2月着工予定。2026年3月以降稼働を開始する予定。

■重松製作所、福島県田村市に労働安全保護具の新工場「船引事業所第三工場」建設

重松製作所は、福島県田村市に防塵マスクなどの労働安全保護具の新工場となる「船引事業所第三工場」を建設する。

同社は国内に生産拠点を2カ所(埼玉・船引)有しているが、生産能力の増強と生産効率の改善のため、主力拠点である船引事業所に第三工場を建設することとした。建築面積は約6580平方メートル。延床面積は約1万2550平方メートル。

■日本触媒、福岡県にリチウムイオン電池用電解質LiFSI生産の新工場

日本触媒は、福岡県にリチウムイオン電池用の電解質として使用され、電気自動車の高性能化に寄与するLiFSI(リチウムビス(フルオロスルホン)イミド)の新工場を建設する。2028年の商業運転を目指す。

イオネル新設備の生産能力は年産3000トンを、電解質として100%使用された場合のリチウムイオン電池容量は21.4GWhとなり、これを用いた電気自動車は21万台に相当する。

この計画は、経済産業省の「蓄電池等の安定供給確保のための取組に関する計画」として認定され、投資額の最大375億円のうち助成金は最大125億円を見込んでいる。

イオネル新設備の生産能力は年産3000トンを、電解質として100%使用された場合のリチウムイオン電池容量は21.4GWhとなり、電気自動車は21万台に相当する。

■ニシハツ、佐賀県唐津市に防災用発電機の新工場

デンヨーのグループ会社のニシハツは、佐賀県唐津市に防災用発電機の新工場を竣工した。

今回の新工場の建設により、生産能力は約30%増加を見込んでいる。敷地面積は約3万8600平方メートル。建屋面積は約1万1700平方メートル。2025年1月操業開始予定。

■ツムラ、茨城県稲敷郡阿見町の茨城工場に漢方製剤のエキス粉末製造の新棟を建設

ツムラは、国内の医療用漢方製剤の需要拡大に伴い、漢方製剤の中間製品であるエキス粉末を生産する第4SD棟と、原料生薬の受け入れと保管の機能を有する第3生薬棟を新設する。

第4SD棟は、自動化技術の導入による省人化と、設

備能力を向上して切替洗浄時間の短縮を図っている。第3生薬棟は、ラック式の自動倉庫とし、入荷後の搬送を無人化しエキス粉末生産量の増産に対応。建屋は耐震構造を採用し、自動倉庫には免震ラックを使い、地震発生時の被害を最小限にとどめ、早期の生産再開を可能とした。

第4SD棟は地上7階建て、建設費用は約300億円。建築面積は1560平方メートル。延床面積は8462平方メートル。第3生薬棟は地上2階建て、建設費用は約80億円。建築面積は1988平方メートル。延床面積は2941平方メートル。

■マクセル、兵庫県小野市の小野事業所に医療機器向け一次電池の新生産ラインを構築

マクセルは、医療機器向け一次電池の増産を図るため、小野事業所(兵庫県小野市)の生産設備の増強と建屋の増築に約50億円を投資する。2027年度中をめどに医療機器向け一次電池の生産能力を現在の約2倍に増強する。

増築面積は約5600平方メートル。2027年10月完工予定。

■パナソニックエナジー、和歌山県紀の川市の和歌山工場をリニューアル。円筒型リチウムイオン電池量産準備完了

パナソニックエナジーは、和歌山県紀の川市の和歌山工場をリニューアルし、電気自動車(EV)向け円筒形リチウムイオン電池の最新型である4680セルの量産準備を完了。最終評価を経て量産を開始する。

4680セルは、従来の2170セルの約5倍の大きな容量を持ち、EVの航続距離の延長やEVに搭載するセル数を大幅に減せ、バッテリーパックの組み立て工程の効率化や、ひいてはEVコストの低減につながるなどが期待されている。一方で1セル当たりの容量が大きくなるため、より高度な技術や工法が求められる。

和歌山工場は、今回のリニューアルを機に4680セル生産のマザー工場として新製品と新工法の実証拠点としての役割も担う。

敷地面積は9万9177平方メートル。建屋面積は6万0907平方メートル。

海外

■ブラザー工業、インドに工作機械の新工場

工業は、インド・ベンガルール市近郊に子会社のブラザーマシナリー(インド)の工作機械の新工場が完成した。日本と中国に続く3カ所目の工作機械の生産拠点で、稼働開始は2024年12月を予定している。

インドは、現在世界最多の人口を擁し、今後とも人口増加と経済成長が続くことが予想され、自動車・二輪向けを中心に工作機械の需要拡大が見込まれている。新工場では、スタンダードモデルの「S500Bd1」と「S700Bd1」の生産から始め、二輪や自動車、医療分野など幅広い市場の開拓を目指す。

敷地面積は3万2100平方メートル。建築面積は6100平方メートル。建設延べ床面積は7300平方メートル。

Just in your products
Just Products

挑戦する盤メーカーをサポートする会社

コスト、生産性、脱炭素。それだけにどまらない、鋼バー加工の外注化のメリットをお伝えします。

株式会社ジャストプロダクツ

JAPAN UNIX

世界の製造業が採用
IPC 品質標準規格

グローバルに通用する製品品質を備え、世界各地での躍の第一歩に——

IPC

ジャパンユニックスではIPCの標準規格書・情報・サービスを提供しています

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』ではんだ付のIoT化へ
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に

ジャパンユニックス製品 導入事例集 webにて公開 『はんだ付 導入事例』で 検索

株式会社 ジャパンユニックス
http://www.japanunix.com

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554
大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581 名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112 テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503